

造園一筋34年、自然を生かす高い技能で、 日本を代表する『名工』に選ばれる

▼長住武美さん（後谷）が、2012年度（第46回）『現代の名工』の栄誉

11月7日、卓越した技能者を厚生労働大臣が表彰する2012年度第46回『現代の名工』が発表され、山陰両県で唯一、長住武美さんが選ばれました。

長住さんは日本の自然、四季を感じさせる庭造りの技能が高く、その卓越した技能が評価され、植木職・造園工等の部門での受賞となりました。県内の同部門受賞は2人目で、関係者は喜びに沸いています。



受賞された長住武美さん（左）。「町の誇り」と喜ぶ景山町長

『現代の名工』は、技能者の地位と技能水準の向上を図るため、昭和42年に創設された日本を代表する技能者を表彰するものです。金属加工や建設、食料品製造など19部門があり、毎年150人が表彰を受けています。今年で第46回を迎え、全国で受賞したのは述べ5438人。そのうち、鳥取県の受賞者は長住さんを含め、32人の皆さんです。

今回の受賞について長住さんは「入社して鳥取県造園建設業協会に入り、長い間、大山の自然環境保護活動などに参加してきたので、この賞は協会全体でいただいたものと思っています」と、感謝の心を忘れません。

長住さんは、26歳の時に（有）米子造園へ入社し、平成9年から社長に。今年の10月からは会長に就任しています。職人をまとめながら、今でも技能向上に努力する造園一筋34年で、自然を生かした造園技術が高く評価されています。

「あつという間の34年です。日野の自然の中で育ったから、今がある」と振り返る造園人生。もともと造園に興味があつた長住さん。きっかけは高校時代に、中庭の手入れを手伝ったことで、迷わずこの道へ進んだと話します。

今は培った造園技能を応用し、大山の緑化活動や弓ヶ浜半島の松の保全をはじめ、黒坂小学校PTAが行う滝山公園の植樹指導も1回目から携わっています。また、日野高校の造園に関する授業で外部講師を務め、生徒の印象について「やる気がある生徒が多

く、教えがいがありますね。将来が期待できる」と微笑みます。

12月5日には、平井伸治鳥取県知事に受賞を報告。平井知事は、技術を生かしたこれまでの活動に対する感謝の言葉と、技能を次の世代に伝えてほしいという願いを託されたとのこと。

長住さんは「造園は木を生かしたわびさびの世界。日本古来の文化・技能で奥が深いものです。今の日本は、この文化・技能を忘れかけているように思います。大切に残して、伝えていきたいですね。造園業を失くさないよう活躍の場を作りたい」と話します。

そして、これからの活動については「技能を伝え、後継者を育てることは大事なことです。伝えることで技能の保存ができます」と後継者の育成に力を入れる反面、「私も木を触らない日はありません。技能は日々の繰り返しで向上します。技能を落とさず、生涯現役で頑張りたい」と、さらなる飛躍を誓いました。

第12回住みよい県土づくり表彰式

地域を愛する活動が認められる

▼黒坂地区コミュニティ推進協議会が知事表彰受賞

第12回住みよい県土づくり表彰式において、土木施設愛護ボランティア知事表彰に黒坂地区コミュニティ推進協議会（中原明会長）が選ばれ、11月20日に県庁講堂で行われ



受賞を喜ぶ中原会長（右）と景山町長

た表彰式には、中原会長が出席しました。

これは、県が管理する道路や河川などにおいて、清掃、草刈りなどの活動を行っている土木施設愛護ボランティアのうち、活動実績が優秀な団体と個人に贈られるもので、黒坂地区コミュニティ推進協議会は、国道180号の清掃などを行っているクリーン作戦活動が認められたものです。

11月27日、中原会長が役場を訪れ、景山享弘町長に受賞報告を行いました。中原会長は「クリーン作戦は協議会を構成する自治会で取り組んでいただいています。このほかにも、花いっぱい運動などにも取り組んでいます。引き続き活動していきたい」と、今後の抱負を語りました。

平成24年度生涯スポーツ功労者および生涯スポーツ優良団体

スポーツを通して、地域づくりに取り組む

▼高橋伸也さん（野田）、文部科学大臣表彰受賞

生涯スポーツ功労者と、生涯スポーツ優良団体に贈られる、平成24年度の文部科学大臣表彰において、日本体育協会が推薦する生涯スポーツ功労者に、野田の高橋伸也さんが受賞されました。

高橋さんは、総合型地域スポーツクラブ「Dオスポーツ」の事務局長として、スポーツ



「元気あふれる町にしたい」と元気いっぱいの高橋さん

を通じた地域づくりに携わっているほか、日野郡や日野町の体育協会、スポーツ推進員会で理事や会長の役職に就いて活動しています。

また、自らもスポーツを楽しむ、平成7年の福島国体には野球の鳥取県チーム選手として出場。第5位入賞という結果を残しています。

今後の活動について高橋さんは「今後も変わらず、スポーツを通して地域づくり活動に取り組みしていきたい。元気あふれる町にしていきたいですね。最近、Dオスポーツは20代など、若い会員が年々増えています。この若い力には期待しています。今の企画以外にも、若者がやりたいことができる活動の手助けをしていきたいと思っています。地域の皆さんにも、Dオスポーツの活動に参加してほしいですね」と、笑顔をみせました。